

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（4日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	亀岡市役所			代表者名	桂川 孝裕
担当者部署	政策企画部			連絡先電話番号	0771-55-9454
担当者役職	係長	担当者氏名	佐藤 由紀子	連絡先E-mail	
住所	621-8501 京都府亀岡市安町野々神8				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	市川 博之
評価	大変よい

上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	参加者の課題意識に対して、具体的にわかりやすくアドバイスをしてもらえた。解決に向けてのどうしていくのがよいのか、イメージしやすいよう指導していただいた。
-----------------------------	--

アドバイザーへの要望事項	
--------------	--

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年1月28日	14時00分	15時00分		60
	派遣形態	支援・助言（オンライン）			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果		
5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員（勉強会メンバー、事務局）	8人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	情報化推進計画において『働き方改革の推進』及び『電子決裁の推進』を今年度の重点としており、交代制在宅勤務によるテレワーク端末の試行導入や、電子決裁の運用拡大等積極的に取り組みを進めてきましたが、実施部署に偏りがある、電子決裁をするために紙資料のスキャンが手間であるという意見があるなどの課題があり、今後の推進方法を検討していく必要があるため、関係職員による勉強会を開催したものの。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	両取組をより推進していくために、何を解決していかないといけないか、何から取り組むべきかを検討し、来年度の取組内容に反映させていく。	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	働き方改革及び電子決裁（ペーパーレス）推進のため勉強会にアドバイザーとして参加いただき、参加者が現状及び課題について意見交換を行った内容について、考え方の視点や解決の糸口を示していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	アドバイスをいただきながら、意見交換をおこなったことで、短時間で意見共有と課題整理が可能になった。 課題を解決していくために、取り組まなければならないことがイメージしやすくなった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	来年度以降の具体的な取組項目についての検討は、次回の勉強会で行うこととしている。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 来年度の取組検討のための課題整理の場であったため、アンケートは行っていない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	場所や時間にとらわれない柔軟な働き方の実現、ペーパーレスの推進	
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。		

